

ニ處セラル可シ
然レモ若其預リ人自己ノ費用ヲ
以テ其子ヲ養育ス可キ契約ヲ爲
サス又ハ他ニ其養育ノ費用ヲ給
ス可キ者ナキ時ハ此限リニ在ラ
ス

第三百四十九條 滿七歳以下ノ兒
ヲ寮闕ノ地ニ棄テシ者又ハ其兒
ヲ棄ツ可キノ命ヲ爲シテ現ニ其
命ノ行ハレシ者ハ並ニ六月ヨリ
少カラス二年ヨリ多カラサル時
間禁錮十六「フランク」ヨリ少カ
ラス二百「フランク」ヨリ多カラ
サル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

ヲ受ケ保養ス可キ者前二條ノ罪ヲ犯
シタル時ハ各一等ヲ加フ

第三百二十九條 幼者老疾者ヲ遺棄シ
因テ癱疾ニ致シタル者ハ輕懲役ニ處
シ篤疾ニ致シタル者ハ重懲役ニ處シ
死ニ致シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

第三百四十條 自己ノ所有地又ハ看守
ス可キ地内ニ遺棄セラレタル幼者老
疾者アルコトヲ知テ之ヲ扶助セヌ又ハ
官署ニ申告セサル者ハ十五日以上六
月以下ノ重禁錮ニ處ス
若シ疾病ニ罹リ昏倒スル者アルコトヲ
知テ扶助セヌ又ハ申告セサル者亦同シ

第三百五十條 兒ノ後見人又ハ其授業師自カラ其兒ヲ棄テ又ハ棄ツ可キノ命ヲ爲シタル時ハ並
ニ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮五十「フランク」ヨリ少カラス四百「フランク」
ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第三百五十一條 若シ第三百四十九條第三百五十條ニ記シタル如ク兒ヲ棄テ因テ其兒ノ身体ヲ
創傷シ若シハ不具ニ至ラシメタル者ハ故ヲニ其兒ヲ創傷セシ者ト看做シ故意ヲ以テハハ創傷
スル罪ノ刑ニ處セラレ若シ其兒ヲ死ニ至ラシメタル時ハ故ヲニ其兒ヲ殺セシ者ト看做シ
故殺ノ罪ノ刑ニ處セラル可シ

第三百五十二條 滿七歳以下ノ兒ヲ寮闕ナラサル地ニ棄テシ者ハ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多
カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラス百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラ
ル可シ

第三百五十三條 若シ兒ノ後見人又ハ授業師前條ニ記シタル罪ヲ犯シタル時ハ六月ヨリ少カラ
ス二年ヨリ多カラサル時間禁錮二十五「フランク」ヨリ少カラス二百「フランク」ヨリ多カラサル
罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第三百四十五條 小兒ヲ誘拐擧匿
スル者又ハ生子ノ出産ヲ隱蔽シ
テ身上證書ノ官吏ニ告ケサル者
ハ並ニ徒刑場内ニ於テ使役スル

第十節 幼者ヲ畧取誘拐スル罪
第三百四十一條 十二歳ニ滿サル幼者
ヲ畧取シ又ハ誘拐シテ自ラ擧匿シ若

刑ニ處セラル可シ其此子ヲ以テ
彼ノ子ト交換シ又ハ子ヲ産マサ
ル婦ニ産ミタリト言掛タル者亦
同上ノ刑ニ處セラル可シ
若シ其子ノ現ニ生存シタルノ證
分明ナラサル者ハ一月ヨリ少カ
ラス五年ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラル可シ
若シ其子ノ生存セサル證アル者
ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ
子ヲ預リタル者其子ノ引渡ヲ求
ム可キ權アル者ヨリ其求メヲ受
ケテ猶ホ其子ヲ示サ、ル時ハ徒
刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セ
ラル可シ

シハ他人ニ交付シタル者ハ二年以上
五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百
圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第三百四十二條 十二歳以上二十歳ニ
滿サル幼者ヲ畧取シテ自ラ藏匿シ若
クハ他人ニ交付シタル者ハ一年以上
三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五
十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其誘拐シテ
自ラ藏匿シ若クハ他人ニ交付シタル
者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處
シ二圓以上廿圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第三百四十三條 畧取誘拐シタル幼者
ナルヲ知テ自己ノ家屬僕婢ト爲シ

第三百五十四條 詐欺暴行ヲ以テ
幼者ヲ誘拐シ又ハ誘拐セシメタ
ル者ハ並ニ徒刑場内ニ於テ使役
スル刑ニ處セラル可シ幼者ヲ指
令或ハ管照ス可キ者ノ置タル場
所ヨリ他所ニ誘出出行シ若シハ
誘出出セ行シメタル者ハ亦同上
ノ刑ニ處セラル可シ
第三百五十五條 若シ滿十六歳以
下ノ女ヲ誘拐シ又ハ誘出シタル
者ハ並ニ有期ノ徒刑ニ處セラル
可シ
第三百五十六條 十六歳以下ノ女
自ラ誘拐セラル、ナ肯シ又ハ其
女自己ノ意ヲ以テ誘拐者ニ隨行
シタル時其誘拐者二十一歳以上
ナルニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セ

又ハ其他ノ名稱ヲ以テ之ヲ收受シタ
ル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ減
ス
第三百四十四條 前數條ニ記載シタル
罪ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ
其罪ヲ論ス但畧取誘拐セラレタル幼
者式ニ從テ婚姻ヲ爲シタルキハ告訴
ノ効ナシ
第三百四十五條 二十歳ニ滿サル幼者
ヲ畧取誘拐シテ外國人ニ交付シタル
者ハ輕懲役ニ處ス

ラル可シ
 若シ其誘拐者二十一歳以下ナル時ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
 セラル可シ
 第三百五十七條 誘拐者其誘拐シタル女ヲ妻ト爲ス時ハ民法ニ從ヒ其婚姻ヲ取消ス可キノ求テ
 爲ス可キ權アルモノ、外其罪ヲ訴フ可カラズ又其婚姻ヲ取消スノ言渡ヲ爲シタル後ニ非サレ
 ハ之ヲ刑ニ處ス可カラズ

第三百三十一條 暴行ヲ加ヘスト
 雖モ年齢十三歳以下ノ男女ノ身
 体ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ
 之ヲ試ミタル者ハ並ニ徒刑場内
 ニ於テ使役スル刑ニ處セラルヘ
 シ
 十三歳以上ト雖モ婚姻ヲ結ビ未
 タ後見ヲ免カレサル幼者ノ身体
 ニ對シ其尊屬ノ親ヨリ猥褻ノ所
 行ヲ爲シ又ハ之ヲ試ミタル者ハ

第十一節 猥褻姦淫重婚ノ罪
 第三百四十六條 十二歳ニ滿サル男女
 ニ對シ猥褻ノ所行ヲ爲シ又ハ十二歳
 以上ノ男女ニ對シ暴行脅迫ヲ以テ猥
 褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ一月以上一
 年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十
 圓以下ノ罰金ヲ附加ス

亦並ニ同上ノ刑ニ處セラル可シ
 第三百三十二條 強姦ノ罪ヲ犯シ
 タル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル
 可シ
 若シ滿十五歳以下ノ幼歳ニ對シ
 強姦ノ罪ヲ犯シタル者ハ至重ノ
 有期ノ徒刑ニ處セラルヘシ
 男女ヲ論セズ人ニ對シ暴行ヲ以
 テ猥褻ノ所業ヲ爲シ又ハ試ミタ
 ル者ハ並ニ徒刑場内ニ於テ使役
 スル刑ニ處セラル可シ
 若シ滿十五歳以下ノ幼者ニ對シ
 此罪ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑
 ニ處セラルヘシ
 第三百三十三條 若シ其犯人暴行
 ヲ受ケシ者ノ尊屬親若クハ其僕
 婢又ハ指令ヲ爲ス可キ者若クハ

第三百四十七條 十二歳ニ滿サル男女ニ
 對シ暴行脅迫ヲ以テ猥褻ノ所行ヲ爲シ
 タル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ
 處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
 第三百四十八條 十二歳以上ノ婦女ヲ
 強姦シタル者ハ輕懲役ニ處ス
 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ昏睡セシメ又ハ精
 神ヲ錯亂セシメテ姦淫シタル者ハ強
 姦ヲ以テ論ス
 第三百四十九條 十二歳ニ滿サル幼女
 ヲ姦淫シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ
 強姦シタル者ハ重懲役ニ處ス
 第三百五十條 前數條ニ記載シタル罪

第三編 ○身体ニ對スル罪

其僕婢又ハ授業師若クハ其僕婢
又ハ暴行ヲ受ケシ者ノ僕婢又ハ
官吏僧徒其他何者ヲ論セス其罪
ヲ犯スニ付一人又ハ數人ノ扶ケ
ヲ得テ第三百三十一條ノ首項ニ
記セシ場合ニ於テハ並ニ無期ノ
徒刑ニ處セラル可シ

第三百三十四條 男女ヲ論セス二
十一歳以下ノ幼者ニ淫行ヲ誘起
誘助シ又ハ之ヲ容易ナラシム可
キヲ常ト爲シ風俗ヲ亂サント
スル者ハ並ニ六月ヨリ少カラス
二年ヨリ多カラサル時間禁錮五
十「フランク」ヨリ少カラス五百
「フランク」ヨリ多カラサル罰金
ノ刑ニ處セラル可シ
若シ父母又ハ後見人其他幼者ヲ

ハ被害者又ハ其親屬ノ告訴ヲ待テ其
罪ヲ論ス

第三百五十一條 前數條ニ記載シタル
罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷ニ致シタル者
ハ毆打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從
テ處斷ス但強姦ニ因テ癡篤疾ニ致シ
タル者ハ有期徒刑ニ處シ死ニ致シタ
ル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百五十二條 十六歳ニ滿サル男女
ノ淫行ヲ勸誘シテ媒合シタル者ハ一
月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓
以上廿圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第三百五十三條 有夫ノ婦姦通シタル

管照ス可キ任ヲ受ケシ者其淫行
ヲ誘起誘助シ又ハ之ヲ容易ナラシム
可キヲ爲シタル時ハ並ニ二年
ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサ
ル時間禁錮三百「フランク」ヨリ
少カラス千「フランク」ヨリ多カ
ラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第三百三十五條 前條ニ記シタル
輕罪ヲ犯シタル者ハ後見人及ヒ
管財人ノ職ヲ行ヒ及ヒ親族會議
ニ列班スルノ禁ヲ受ク可シ但前
條ノ首項ニ記シタル犯人ハ二年
ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサ
ル時間其禁ヲ受ケシ其次項ニ記シタル犯人ハ十年ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間其禁
ヲ受ケシムヘシ○若シ父母其罪ヲ犯シタル時ハ民法第一篇第九卷ニ記シタル所ニ從ヒ其子ノ
身體財産ニ對シ行フヘキ權利ノ剝奪ヲ受クヘシ

者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處
ス其相姦スル者亦同シ
此條ノ罪ハ本夫ノ告訴ヲ待テ其罪ヲ
論ス但本夫先ニ姦通ヲ縱容シタル者
ハ告訴ノ効ナシ
第三百五十四條 配偶者アル者重子テ
婚姻ヲ爲シタル時ハ六月以上二年以
下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以
下ノ罰金ヲ附加ス

何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ裁判所ノ宣告ニ因リ政府ノ監視ヲ受ケシムルヲ得可シ但其期

限ノ差別ハ此條ニ記シタル後見人及ヒ管財人ノ職務ヲ行ヒ及ヒ親屬會議ニ列班スルノ禁ヲ受ケル期限ノ差別ト同一ナル可シ

第三百三十六條 婦ノ姦通ハ其夫ニ非ラサレハ訴フ可カラズ但シ第三百三十九條ニ記スル場合ニ於テハ夫其婦ノ姦通ヲ訴フルノ權ヲ失フ可シ

第三百三十七條 姦通ノ證アル婦ハ三月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

夫其姦婦ヲ再娶スルコト肯スル時ハ其刑ヲ停止スルコト得ヘシ

第三百三十八條 姦夫ハ姦婦ト同期ノ時間禁錮百「フランク」ヨリ少カラス二千「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラルヘシ

姦通シタルノ證ハ現ニ其罪ヲ犯シタルヲ知リシコト又ハ其罪ヲ訴ヘラレシ者ノ記シタル書狀及ヒ其他ノ書類ニ限ル可シ

第三百三十九條 夫其家ニ娼婦ヲ蓄ヒ置キ其婦ノ訴訟ニ因テ其罪證發覺シタルキハ其夫百「フランク」ヨリ少カラス二千「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第三百四十條 未ダ前婚ヲ解カサル中更ニ再婚ヲ爲シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラルヘシ未ダ前婚ヲ解カサル中更ニ再婚ヲ爲スコトヲ知テ之ヲ許シタル官吏ハ同上ノ刑ニ處セラル可シ

第二百八十六條 前數條ニ記シタル何レノ場合ニ於テモ其書類ノ印本ハ之ヲ沒收ス可シ前數條

ハ第二百八十三四五條ヲ云フト雖モ之ヲ抄録セズ宜シク原本ニ就テ看ルヘシ

第二百八十七條 風俗ヲ亂ス可キ歌謠冊子畫圖肖像ヲ展示若クハ分派シタル者ハ並ニ十六「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ其歌謠肖像及ヒ其他ノ物ヲ彫刻シタル印版肖像及ヒ印本ハ之ヲ沒收ス可シ

第二百八十八條

第十二節 誣告及ヒ誹毀ノ罪

第三百五十五條 不實ノ事ヲ以テ人ヲ誣告シタル者ハ第二百廿條ニ記載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百五十六條 誣告ヲ爲スト雖モ被告ノ推問ヲ始メサル前ニ於テ誣告者自首シタルキハ本刑ヲ免ス

第三百五十七條 誣告ニ因テ被告人刑ニ處セラレタルキハ第二百廿一條第二廿二條ニ記載シタル例ニ照シテ處斷ス

第三百五十八條 惡事醜行ヲ摘發シテ人ヲ誹毀シタル者ハ事實ノ有無ヲ問

第一 前條ニ記シタル罪犯ニ關

セシ物件ヲ附與セシ者ノ姓名
ヲ陳述シタル唱賣者又ハ販賣
分派ヲ爲ス者

第二 刷工彫工ノ姓名ヲ陳述シ
タル者

第三 前條ニ記シタル罪犯ニ關
セシ物件ヲ造リシ者又ハ其彫
刻或ハ印刷ヲ任シタル者ノ姓
名ヲ陳述シタル刷工及ヒ彫工
此等ノ者ハ前條ニ記シタル禁錮
及ヒ罰金ノ刑ニ處セラノス唯違
警罪ノ刑ヲ受クルノミトス

第二百八十九條 此款ニ記シタル
何レノ場合ニ於テモ罪犯ノ首謀
ハ前ニ記シタル各種ノ輕罪ノ刑
中ニ於テ其至重ノ刑ニ處セラレ

可シ

第三百七十三條 一人若クハ數人
ヲ讒訴スル書面ヲ裁判官、行政警
察官、司法警察官、ニ差出シタル
者ハ並ニ一月ヨリ少カラズ一年
ヨリ多カラサル時間禁錮百「フ
ランク」ヨリ少カラズ三千「フテ
ソク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑
ニ處セラレ可シ

第三百七十六條 第三百七十三條
ニ記シタル如ク重劇公然ナラザ
ル誣罔ハ違警罪ノ刑ヲ受クルノ
ミトス

第三百七十八條 内科、外科、及ヒ
下等醫士、又ハ賣藥者、產婆、其他
自己ノ職業身分ニ因リ人ヨリ密
事ノ託ヲ受ケタル者法律ニ從ヒ

ハス右ノ例ニ照シテ處斷ス
一 公然ノ演說ヲ以テ人ヲ誹毀シタル
者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮
ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金
ヲ附加ス

二 書類畫圖ヲ公布シ又ハ雜劇偶像ヲ
作爲シテ人ヲ誹毀シタル者ハ十五
日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五
圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第三百五十九條 死者ヲ誹毀シタル者
ハ誣罔ニ出タルニ非サレハ前條ノ例
ニ照シテ處斷スルヲ得ス

第三百六十條 醫師藥商穩婆又ハ代言

人辨護人代書人若クハ神官僧侶其身
分職業ニ於テ委託ヲ受ケタル事ニ因
リ知得タル陰私ヲ漏告シタル者ハ誹
毀ヲ以テ論シ十一日以上三月以下ノ
重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ
罰金ヲ附加ス
但裁判所ノ呼出ヲ受ケテ事實ヲ陳述
スル者ハ此限ニ在ラズ
第三百六十一條 此節ニ記載シタル誹
毀ノ罪ハ被告者又ハ死者ノ親屬ノ告
訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

其密事ヲ告訴ス可キ場合ノ外其密事ヲ漏告シタル時ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時
間禁錮百(フランク)ヨリ少カラズ五百(フランク)ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第二百九十九條 尊屬ノ親ヲ殺ス

ノ罪トハ適法若クハ不適法ノ父
母父ハ養父母ヲ殺スヲ云フ其他
尊屬ノ親ヲ殺スモ亦同上サドト

第三百十二條 故意ヲ以テ適法不

適法ノ父母又ハ養父母其他適法
ノ尊屬ノ親ヲ創傷毆撃シタル者
ハ左ノ刑ニ處セラル可シ
若シ其創傷毆撃ヲ受ケシ者ヲシ
テ第三百九條ニ記シタル病ニ罹
ラシメ又ハ職業ヲ營ムト能ハ
サルニ至ラシメサル者ハ徒刑場
内ニ於テ使役スル刑ニ處セラル

第十三節 祖父母父母ニ對スル

第三百六十二條 子孫其祖父母父母ヲ

謀殺故殺シタル者ハ死刑ニ處ス

其自殺ニ關スル罪ハ凡人ノ刑ニ照シ

第三百六十三條 子孫其祖父母父母ニ

對シ毆打創傷ノ罪其他監禁脅迫遺棄

誣告誹毀ノ罪ヲ犯シタル者ハ各本條

ニ記載シタル凡人ノ刑ニ照シ二等ヲ

加フ但癡疾ニ致シタル者ハ有期徒刑

可シ(第三百九條ハ毆打創傷ノ

罪ノ上段ニ在リ)

若シ其創傷毆撃ヲ受ケシ者ヲシ
テ二十日以上ノ期間其職業ヲ營
ムト能ハサルニ至ラシメシ者又
ハ預メ害ヲ加ヘント謀リ或ハ人
ノ來ルヲ待テ創傷毆撃シタル者
ハ並ニ至重ノ徒刑場内ニ於テ使
役スル刑ニ處セラル可シ

若シ父母又ハ尊屬ノ親ニ非サル
者ニ對シ犯シタル罪徒刑場内ニ
於テ使役スル刑ニ處ス可キモノ
タル時之レヲ其父母又ハ尊屬ノ
親ニ對シ犯シタルニ於テハ有期
ノ徒刑ニ處セラルヘシ

若シ父母又ハ尊屬ノ親ニ非サル
者ニ對シ犯シタル罪有期ノ徒刑

ニ處シ篤疾ニ致シタル者ハ無期徒刑

ニ處シ死ニ致シタル者ハ死刑ニ處ス

第三百六十四條 子孫其祖父母父母ニ

對シ衣食ヲ供給セス其他必要ナル奉

養ヲ缺キタル者ハ十五日以上六月以

下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以

下ノ罰金ヲ附加ス

因テ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ亦前

條ノ例ニ同シ

第三百六十五條 祖父母父母ニ對シタ

ル殺傷ノ罪ハ特別ノ宥恕及ヒ不論罪

ノ例ヲ用フルト得ス但其犯ス時知

ラサル者ハ此限ニ在ラズ

ニ處ス可キ者タル時之ヲ其父母又ハ尊屬ノ親ニ對シ犯シタルニ於テハ無期ノ徒刑ニ處セラレ
可シ

第三百十三條 此一款ト前款ニ記シタル重罪輕罪ヲ犯ス時官命ニ抗スル群聚及ヒ掠奪ノ首謀又
ハ之ヲ挑唆シタル者ニ其重罪輕罪ヲ科シ此等ノ者ヲ其群聚中躬自ラ其罪ヲ犯シタル者ト同一
ノ刑ニ處ス可シ(前款トハ第二章第一章第一款云フ此款トハ即チ第二款云フナリ)

第三百十五條 前條ニ記シタル輕罪ノ外裁判所ノ宣告ニヨリ其犯人ニ二年ヨリ少カラス十年ヨ
リ多カラサル時間政府ノ監視ヲ受ケシムルヲ得ヘシ

第三百二十三條 尊屬ノ親ヲ殺ス罪ハ決シテ宥恕ス可カラス

第三百七十九條 何人ニ限ラス己
レニ屬セサル物ヲ盜ミシ罪ヲ盜
罪ト云フ

第三百八十條 夫婦互ニ相盜ミ又
ハ鰥夫或ハ寡婦其死去シタル婦
或ハ夫ノ物ヲ盜ミタル時止テ損
失ノ償ヲ爲ス可キノミトス子ト
父母ト互ニ相盜ミ又ハ尊屬ノ親

第二章 財産ニ對スル罪

第一節 竊盜ノ罪

第三百六十六條 人ノ所有物ヲ竊取シ
タル者ハ竊盜ノ罪ト爲シ二月以上四
年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十七條 水火震災其他ノ變ニ

ト卑屬ノ親ト互ニ相盜ミ又ハ同
上ノ等級ノ姻屬ノ親互ニ相盜
ル時亦同上ナリトス

其他ノ者贖物ノ全部ヲ隱蔽シ又
ハ己レノ利益ト爲シタル時ハ盜
罪ノ刑ニ處セラレ可シ

第三百八十八條 物ヲ負載セシメ
或ハ車ヲ挽カシメ或ハ騎行ニ用
フル馬及ヒ其他大小ノ獸類家畜
ヲ盜ミ若シハ盜マント試ミタル
者ハ並ニ一年ヨリ少カラス五年
ヨリ多カラサル時間禁錮十六
「フランク」ヨリ少カラス五百「フ
ランク」ヨリ多カラサル罰金ノ
刑ニ處セラレ可シ田野ニ於テ耕
作ノ器具ヲ盜ミ若シハ盜マント
試ミタル者モ亦同上ノ刑ニ處セ

乘シテ竊盜ヲ犯シタル者ハ六月以上
五年以下ノ重禁錮ニ處ス

第三百六十八條 門戶牆壁ヲ踰越損壞
シ若シハ鎖鑰ヲ開キ邸宅倉庫ニ入り
竊盜ヲ犯シタル者ハ亦前條ニ同シ

第三百六十九條 二人以上共ニ前三條
ノ罪ヲ犯シタル者ハ各一等ヲ加フ

第三百七十條 兇器ヲ携帯シテ人ノ住
居シタル邸宅ニ入り竊盜ヲ犯シタル
者ハ輕懲役ニ處ス

第三百七十一條 自己ノ所有物ト雖モ
典物トシテ他人ニ交付シ又ハ官署ノ
命令ニ因リ他人ノ看手シタル時之ヲ

テラル可シ

期ヲ定メ伐リ出ス可キ木材石礫ニ在ル石池沼ニ養フ魚ヲ盗ミシ者亦同上ノ刑ニ處セラルヘシ
田野ニ於テ既ニ刈收セシ穀類又ハ刈收堆積シタル穀草類其他地ヨリ生ズル要用品ノ產物ヲ盗ミ若クハ盜マント試ミタル者ハ十五日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラス二百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
車或ハ物ヲ負載セシムル獸類ヲ用ヒ夜間一人若クハ晝間二人以上ニテ前文ニ記シタル盜罪ヲ犯シタル者ハ並ニ一年ヨリ少カラ

竊盜シタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

第三百七十二條 田野ニ於テ穀類菜菓其他ノ產物ヲ竊取シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス
第三百七十三條 山林ニ於テ竹木礫物其他ノ產物ヲ竊取シ又ハ川澤池沼湖海ニ於テ人ノ生養シ若クハ營業ニ關スル產物ヲ竊取シタル者ハ亦前條ニ同シ
第三百七十四條 牧場ニ於テ牧畜ノ獸類ヲ竊取シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
第三百七十五條 此節ニ記載シタル輕

ス五年ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラルヘシ

監竊其他此類ノ器具又ハ車或ハ物ヲ負載セシムル獸類ヲ用ヒ夜間一人若クハ晝間二人以上ニテ未タ地ヨリ刈收セサル穀類其他地ヨリ生ズル要用品ノ產物ヲ盗ミ若クハ盜マント試ミタル者ハ並ニ十五日ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラス二百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
本條ニ記シタル何レノ場合ニ於テモ其犯人ハ前文ニ記シタル

罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百七十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
第三百七十七條 祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又ハ同居ノ兄弟姊妹互ニ其財物ヲ竊取シタル者ハ竊盜ヲ以テ論スルノ限ニ在ラス
若シ他人共ニ犯シテ財物ヲ分チタル者ハ竊盜ヲ以テ論ス

主刑ノ外其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カラズ十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權利ノ全部又ハ一部ヲ行フノ禁ヲ受ケ且裁判所ノ宣告ヲ以テ同上ノ期限間政府ノ監視ヲ受ケシムルコトヲ得ヘシ

第三百八十九條 盜罪ヲ犯サン爲メ土地ノ經界標ヲ除去シ若シハ除去セント試ミタル者ハ並ニ二年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラズ五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カラズ十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權利ヲ行フノ禁ヲ受ケ且裁判所ノ宣告ニ因リ同上ノ期限間政府ノ監視ヲ受ケシムルコトヲ得ヘシ

第四百條ノ内

負債ノ爲メ自己ノ財産ヲ抵償トシテ差押ヘラレシ者其財産ヲ預リ中亡失若シハ竊取シ又ハ是等ノコトヲ爲サント試ミタル時ハ並ニ第四百六條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

若シ負債ノ抵償トシテ差押ヘラレタル自己ノ財産ヲ他人ヘ預ケタル中其財産ヲ亡失若シハ竊取シ又ハ是等ノ事ヲ爲サント試ミタル者ハ第四百一條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

負債者又ハ負債ノ保證人其質トシテ附與シタル物品ヲ亡失若シハ竊取シ又ハ是等ノコトヲ爲サント試ミタル者ハ亦第四百一條ニ記シタル刑ニ處セラル可シ

故意ヲ以テ竊取シタル物品ヲ隱匿セントスルヲ助ケタル配偶者又ハ其尊屬若シハ卑屬ノ親ハ

其犯人ト一同ノ刑ニ處セラル可シ負債者又ハ負債ノ保證人其質トシテ附與シタル物品ヲ亡失若シハ竊取シ又ハ是等ノ事ヲ爲サント試ミタル助ケタル配偶者又ハ其尊屬親若シハ卑屬親亦同シ

第四百一條 前數條ニ記セサル竊盜ノ罪ヲ犯シ若シハ犯サント試ミタル者ハ並ニ一年ヨリ少カラズ五年ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フランク」ヨリ少カラズ五百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カラズ十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權利ヲ行フノ禁ヲ受ケ可シ
又其犯人ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ同上ノ期限間政府ノ監視ヲ受ケシムルコトヲ得ヘシ

第三百八十一條

第二節 強盜ノ罪

第一 夜間盜ヲ行ヒタル時

第三百七十八條 人ヲ脅迫シ又ハ暴行

第二 二人以上ニテ盜ヲ行ヒタル時

ヲ加ヘテ財物ヲ強取シタル者ハ強盜

ノ罪ト爲シ輕懲役ニ處ス

第三 盜犯數人若シハ一人表携

第三百七十九條 強盜左ニ記載シタル

或ハ暗藏ノ兵器ヲ持シタル時

第四 盜犯人ノ居住或ハ居住ス

可キ家屋房室或ハ其家屋ニ屬
スル房舎ノ外部ヲ破壊攀援若
クハ偽鑰ヲ用ヒ其家屋房室房
舎内ニ於テ盜罪ヲ犯シ又ハ上
等官吏文武官吏ノ名稱ヲ偽リ
其衣服ヲ借用シ又ハ文武官吏
ノ命ヲ偽リ其罪ヲ犯シタル時
第五 暴行ヲ爲シ又ハ兵器ヲ用
ヒント脅迫シテ其罪ヲ犯シタ
ル時
此五項ノ景狀ヲ合シテ盜罪ヲ犯
シタル者ハ並ニ無期ノ徒刑ニ處
セラル可シ

第三百八十二條 暴行ヲ以テ盜罪
ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處
セラル可シ○若シ其暴行ニ因リ
斫傷ヲ爲シタル時ハ其所行ノミ

情狀アル者ハ一個毎ニ一等ヲ加フ
一二人以上共ニ犯シタル時
二兇器ヲ携帯シテ犯シタル時
第三百八十條 強盜人ヲ傷シタル者ハ
無期徒刑ニ處シ死ニ致シタル者ハ死
刑ニ處ス

第三百八十一條 強盜婦女ヲ強姦シタ
ル者ハ無期徒刑ニ處ス

第三百八十二條 竊盜財ヲ得テ其取還
ヲ拒ク爲メ臨時暴行脅迫ヲ爲シタル
者ハ強盜ヲ以テ論ス

第三百八十三條 藥酒等ヲ用ヒ人ヲ醉
迷セシメ其財物ヲ盜取シタル者ハ強

ヲ以テ無期ノ徒刑ニ處セラル可
シ

第三百八十三條 道路ニ於テ第三
百八十一條ニ記シタル五箇ノ所
行中ノ二箇ヲ犯シタル者ハ無期
ノ徒刑ニ處セラル可シ

若シ道路ニ於テ第三百八十一條ニ記
シタル五箇ノ所行中ノ一箇ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ
處セラル可シ

其他ノ場合ニ於テハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラル可シ

第三百八十四條 第四項ニ記シタル細目ノ一箇ヲ以テ盜罪ヲ犯シタル者ハ假
令人ノ住居ニ用キタル建築物又ハ人ノ住居スル家屋ニ屬セサル範圍ヲ破壊攀援シ又ハ偽鑰ヲ
用ヒテ潛入シタル時ト雖並ニ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ其破壊ノ所業ヲ家屋ノ内部ノミ
於テ行ヒタル時亦同上ノ刑ニ處セラル可シ

第三百八十五條

第十一 夜間盜罪ヲ犯シタル時

第十二 人ノ居住スル家屋又ハ佛蘭西國ノ法律ニ從ヒ允准セシ法教ノ爲メ設ケタル建築物内ニ
於テ盜罪ヲ犯シタル時

盜ヲ以テ論シ輕懲役ニ處ス

第三百八十四條 此節ニ記載シタル罪
ヲ犯シ減輕ニ因テ輕罪ノ刑ニ處スル
者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第三 二人以上ニテ盜罪ヲ犯シ且其犯人中ノ數人若クハ一人表携或ハ暗藏ノ兵器ヲ持シタル時此三項ノ所行中ノ二箇ヲ犯シタル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百八十六條

第一 夜間二人以上ニテ盜罪ヲ犯シタル時又ハ夜間一人或ハ晝間二人以上ニテ人ノ居住シ若クハ居住ニ用フヘキ家屋又ハ佛蘭西國ノ法律ニ從ヒ允准セシ法教ノ爲メ設ケタル建造物内ニ於テ盜罪ヲ犯シタル時

第二 晝間一人ニテ盜罪ヲ犯シ其場所人ノ住居シ若クハ住居ニ用フ可キ家屋ニ非スト雖モ其犯人表携或ハ暗藏ノ兵器ヲ持シタル時

第三 奴婢或ハ其他ノ雇人縱令其主ニ對スルニ非スト雖モ其主家ニ在ル者及ヒ其主ニ隨行シテ赴キシ家屋ニ在ル者ニ對シ盜罪ヲ犯シタル時又ハ家長ノ家屋製造所舖座ニ住スル工丁或ハ年季ノ弟子其住スル場所ニ於テ盜罪ヲ犯シタル時又ハ工業ヲ爲ス者通常其工業ヲ爲ス家屋ニ於テ盜罪ヲ犯シタル時

第四 旅舎ノ主人水陸ノ運送人又ハ其使役スル者其職業ニ付委託ヲ受ケシ物品ノ全部若クハ一部ヲ盜ミタル時

此等ノ場合中ノ一ニ於テ盜罪ヲ犯シタル者ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラル可シ

第四百四十條 羣衆ヲ爲シ顯然ノ暴行ヲ以テ物品商品證票動産類ヲ掠奪毀損シタル者ハ並ニ有期ノ徒刑二百(フラン)ノ少カラス五千(フラン)ノ多カラサル罰金ニ處セラル可シ

第四百四十一條 人ニ挑唆鼓舞セラレテ前條ニ記シタル暴行ニ加ハリタル證アル者ハ徒刑場内ニ於テ使役スル刑ニ處セラル可シ

第四百四十二條 前ニ記スル所ノ暴行ニ因テ穀物粗惡ノ穀物穀粉諸般ノ粉トナス可キ物麩包葡萄酒其他諸般ノ飲料ヲ掠奪損敗シタル者ハ並ニ其首謀挑唆者鼓舞者ヲ至重ノ有期ノ徒刑且第四百四十條ニ記シタル至重ノ罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第三節 遺失物理物ニ關スル罪

第三百八十五條 遺失及ヒ漂流ノ物品ヲ拾得テ隱匿シ所有主ニ還付セス又ハ官署ニ申告セサル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上廿圓以下ノ罰金ニ處ス

第三百八十六條 他人ノ所有地内ニ於

テ埋藏ノ物品ヲ掘得テ隠匿シタル者ハ前條ニ同シ

第三百八十七條 此節ニ記載シタル罪

ヲ犯シタル者ハ第三百七十七條ニ掲

ケタル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

第四節 家資分散ニ關スル罪

第三百八十八條 家資分散ノ際其財產

ヲ藏匿脱漏シ又ハ虚偽ノ負債ヲ増加

シタル者ハ二月以上四年以下ノ重禁

錮ニ處ス

情ヲ知テ虚偽ノ契約ヲ承諾シ若クハ

其媒介ヲ爲シタル者ハ一等ヲ減ス

第三百八十九條 家資分散ノ際牒簿ノ

第四百二條 商法ニ記スル場合ニ

於テ倒産ノ罪ヲ犯シタル者ハ左

ノ刑ニ處セラル可シ

詐偽ノ倒産ノ罪アル者ハ有期ノ

徒刑ニ處セラル可シ

通常ノ倒産ノ罪アル者ハ一月ヨ

リ少カラズ二年ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三條 商法ニ記スル所ニ從

ヒ詐偽ノ倒産ノ附隨タル裁判ヲ

受ケシ從犯ハ其自謀ト同一ノ刑

ニ處セラル可シ

第四百四條 手形賣買世話人及ヒ

商業世話人ノ家資分散ヲ爲シタ

ル時ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可

シ若シ此等ノ世話人詐偽ノ倒産

ノ罪ヲ犯シタル證アル時ハ無期

ノ徒刑ニ處セラル可シ

第三百八十七條 水陸運送人又ハ

其使役スル者其運搬ヲ任セラレ

タル酒類其他ノ流動物或ハ商品

ヲ變造シ若クハ變造セント試ミ

又ハ人ノ害トナル可キ物ヲ混合

シテ之ヲ變造シ若クハ變造セント

試ミタル時ハ二年ヨリ少カラズ

五年ヨリ多カラサル時間禁錮二

十五(フランク)ヨリ少カラズ五

類ヲ藏匿毀棄シ若クハ分散決定ノ後

債主中ノ一人又ハ數人ニ其負債ヲ私

償シテ他ノ債主ヲ害シタル者ハ一月

以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

第五節 詐欺取財ノ罪及ヒ受寄

財物ニ關スル罪

第三百九十條 人ヲ欺罔シ又ハ恐喝シ

テ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者

ハ詐欺取財ノ罪ト爲シ二月以上四年

以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓

以下ノ罰金ヲ附加ス

百(フランク)ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
 又其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタル權利ヲ行フノ禁ヲ受ケ且同上ノ期限間裁判所ノ宣告ヲ以テ政府ノ監視ヲ受ケシムルヲ得ヘシ
 若シ人ノ害トナル可キ物ヲ混合セサルニ於テハ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮十六(フランク)ヨリ少カラス百(フランク)ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
 第四百五條 偽リノ姓名ヲ用ヒ或ハ偽リノ身分ヲ稱シ人ノ所有スル金銀、動産、義務ノ證書、契約書

因テ官私ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ偽造ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス
 第三百九十一條 幼者ノ知慮淺薄又ハ人ノ精神錯亂シタルニ乘シテ其財物若クハ證書類ヲ授與セシメタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
 第三百九十二條 物件ヲ販賣シ又ハ交換スルニ當リ其物質ヲ變シ若クハ分量ヲ偽テ人ニ交付シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
 第三百九十三條 他人ノ動産不動産ヲ冒認シテ販賣交換シ又ハ抵當典物ト

手形、約定書、算還ノ證書、産業ノ全部、若クハ一部ヲ詐取シ或ハ詐取セント試ミタル者ハ並ニ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮五十(フランク)ヨリ少カラス三千(フランク)ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラレ可シ偽リノ起作、無實ノ威權、偽リノ信據、ヲ人ニ證シ又ハ人ヲシテ無實ノ成功及ヒ無根ノ事故ヲ希望セシメ或ハ畏怖セシム可キ爲メ偽計ヲ用ヒテ此等ノ物ヲ詐取スル者亦並ニ全上ノ刑ニ處セラル可シ
 又其犯人ハ其刑ヲ受ケシ日ヨリ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二條ニ記シタ

爲シタル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス
 自己ノ不動産ト雖モ己ニ抵當典物ト爲シタルヲ欺隱シテ他人ニ賣與シ又ハ重テ抵當典物ト爲シタル者亦同シ
 第三百九十四條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
 第三百九十五條 受寄ノ財物借用物又ハ典物其他委託ヲ受ケタル金額物件ヲ費消シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス若シ騙取拐帶其他詐欺ノ所爲アル者ハ詐欺取財ヲ以テ論ス

ル權利ヲ行フノ禁ヲ受ケシムル
コトヲ得ヘシ

但此規則ト偽造變作ノ重罪アル
時更ニ重キ刑ニ處ス可キ規則ト
支轄スルコトナカル可シ

第四百六條 幼者ノ窮乏怯心情欲
ニ乘シ其幼者ヲシテ金銀、動産
商業ノ手形、算還ノ證書、又ハ
其他ノ手形類ヲ貸借スル義務ノ
證書ニ其姓名ヲ手署セシメ其損
害トナル可キ方法ニ用ヒタル者
ハ其取引掛合ヲ爲ス方法口實ノ
如何ナルヲ問ハズ並ニ二月ヨリ
少カラズ二年ヨリ多カラサル時
間禁錮ノ刑ニ處セラレ且其犯罪
ノ爲メ損害ヲ受ケタル者ニ償還
ス可キ總額ノ四分一ヨリ多カラ

第三百九十六條 自己ノ所有ニ係ルト

雖モ官署ヨリ差押ヘタル物件ヲ藏匿

脱漏シタル者ハ一月以上六月以下ノ

重禁錮ニ處ス但家資分散ノ際此罪ヲ

犯シタル者ハ第三百八十八條ノ例ニ

照シテ處斷ス

第三百九十七條 此節ニ記載シタル罪

ヲ犯ハントシテ未ダ遂ケサル者ハ未

遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

第三百九十八條 此節ニ記載シタル罪

ヲ犯シタル者第三百七十七條ニ掲ケ

タル親屬ニ係ル時ハ其罪ヲ論セス

ス二十五(フテン)ヨリ少カラサル罰金ニ處セラレ又前條ノ第二項ニ記シタル刑ヲ受ケシム
ルコトヲ得可シ

第四百七條 人ノ姓名ヲ手署シタル白紙ヲ預リ詐偽ヲ以テ其白紙ニ義務ノ証算還ノ證身體產業
ノ害ト爲ル可キ證ヲ記入シタル者ハ第四百五條ニ記シタル刑ニ處セラレ可シ

若シ其白紙ヲ預リタルニ非サル者其罪ヲ犯シタルハ贗造ノ罪ノ訴ヲ受ケ其刑ニ處セラレ可
シ

第四百八條 借受、附託、質入、借用、雇賃ノ有無ヲ論セス人ノ用ヲ達ス可キ等ノ爲メ人ヨリ動産

金銀、商品、手形、算還ノ證書、其他借受或ハ算還ノ證書類ヲ受取リ後ニ之ヲ還ス可キノ約ヲ爲

シ其約ニ背キ此等ノ諸件ヲ竊取シ又ハ消費シテ其所有者ノ損害ヲ爲シタル者ハ並ニ第四百六

條ニ記シタル刑ニ處セラレ可シ其此等ノモノヲ示シ又ハ之ヲ定マリタル方法ニ用フ可キノ約

ヲ爲シ其約ニ背キ損害ヲ爲シタル者亦同上ノ刑ニ處セラレ可シ

若シ行政又ハ裁判ニ關スル官吏前項ニ記シタル背信ノ罪ヲ犯シタル時ハ徒刑場内ニ於テ使役

ナル刑ニ處セラレ可シ奴婢、雇人、弟子、書記官、家僮、工丁、年季弟子、其主又ハ師ニ對シ之ヲ

犯シテ害ヲ爲シタル時亦同上ノ刑ニ處セラレ可シ

但此規則ト第二百五十四條第二百五十五條第二百五十六條ニ記シタル公ケノ預リ所ニ藏スル
金銀、動産、證書類ヲ竊取掠奪スル罪ヲ罰スル規則ト支轄スルコトナカル可シ(第二百五十四、五
六條ハ官ノ封印ヲ破棄スル罪ノ上段ニ在リ)

第四百九條 裁判所ニ於テ訴訟ヲ爲ス時證書又ハ覺書ノ類ヲ出シタル後如何ナル方法ヲ論セス
之ヲ竊取シタル者ハ二十五「フランク」ヨリ少カラス三百「フランク」ヨリ多カラサル罰金ニ處
セラル可シ

但其刑ハ訴訟ヲ爲シタル裁判所ニ於テ之ヲ受クヘシ

第四百二十三條 金銀石類及ヒ諸般商品ノ性質ヲ眞物ナリト欺キ販賣シタル者又ハ贗造ノ度量
ノ具ヲ用ヒテ物品ノ分量ヲ欺キ販賣シタル者ハ並ニ三月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時
間禁錮且損失償額ノ四分ノ一ヨリ多カラス五十「フランク」ヨリ少カラサル罰金ノ刑ニ處セラ
ル可シ

此輕罪ニ關スル物品又ハ其代金尙ホ其賣主ニ屬スル時ハ之ヲ沒收セラレ又其贗造シタル度量
ノ具モ亦沒收シテ破棄セラル可シ

又其宣告書ハ裁判所ヨリ指示シタル場所ニ貼示シ且其宣告書ノ摘撮書又ハ其全文ヲ裁判所ヨ
リ指示シタル新聞紙ニ印刷ス可キヲ宣告シ其費用ハ犯人ヨリ償ハシムヘシ

第六十二條 重罪輕罪ヲ犯シテ盜
奪竊取シタル贓物ノ全部若クハ
一部ヲ故テニ隱匿シタル者ハ其
重罪輕罪ノ附從ト爲シテ罰セラ

第六節 贓物ニ關スル罪

第三百九十九條 強竊盜ノ贓物ナルコ
ト知テ之ヲ受ケ又ハ寄藏故買シ若ク

ル可シ

第六十三條 然レモ罪ノ首謀ヲ
死刑ニ處ス可キ時ハ其贓物ヲ隱
匿セシ者ハ無期ノ徒刑ニ處セラ
ル可シ

第四百條 前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ六

月以上二年以下ノ監視ニ付ス
第四百一條 詐欺取財其他ノ犯罪ニ關

何レノ場合ニ於テモ贓物ヲ隱匿
セシ者其之ヲ犯ス時ニ當リ犯罪
ノ首謀ノ死刑若クハ無期ノ徒刑
若クハ流刑ニ處セラル可キ模様
アルヲ知リタルノ證據分明ナル
時ニ非ラサレハ其隱匿者ハ無期
ノ徒刑又ハ流刑ニ處セラル可カ
ラス

若シ然ラサレハ有期ノ徒刑ニ處

セラル可シ

第四百三十四條 自他ノ所有ヲ論
セス故違ヲ以テ人ノ居住若シハ

ハ牙保ヲ爲シタル者ハ一月以上三年
以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ヲ附加ス

第七節 放火失火ノ罪

第四百二條 火ヲ放テ人ノ住居シクル

居住ス可キ建造物、船舶、小舟、倉庫、木材ノ聚積場、其他人ノ居住シ若クハ居住ス可キ諸般ノ場所ニ火ヲ放テシ者ハ並ニ死刑ニ處セラル可シ

故意ヲ以テ人ノ乘リタル車、火輪車又ハ人ノ乘リタル列車ノ一部タル空車ニ火ヲ放テタル者ハ同上ノ刑ニ處セラル可シ

故意ヲ以テ自己ノ所有ニ非サル人ノ居住シ若クハ居住ス可キモノニ非サル建造物、船舶、小舟、倉庫、木材ノ裂積場、森林、斫伐スヘキ大木、未タ刈收セサル穀類ニ火ヲ放テタル者ハ並ニ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

故意ヲ以テ前項ニ記シタル自己

ノ所有物ニ火ヲ放テ若クハ放テシメ人ニ損害ヲ加ヘタル者ハ並ニ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ其所有者ノ命ニ因リ火ヲ放テタル者モ亦同上ノ刑ニ處セラル可シ故意ヲ以テ自己ノ所有ニ非スシテ推積シタル穀、木材、刈收シタル穀類又ハ商品其他人ノ乘リタル列車ノ一部ニ非サル車ニ物品ヲ載スルト否トテ論セス之ニ火ヲ放テタル者ハ並ニ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

ノ穀麥又ハ露積シタル柴草竹木其他ノ物ヲ燒燬シタル者ハ輕懲役ニ處ス
第四百七條 火ヲ放テ自己ノ家屋ヲ燒燬シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス
第四百八條 放火ノ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス
第四百九條 火ヲ失シテ人ノ家屋財產ヲ燒燬シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス
第四百十條 火藥其他激發ス可キ物品又ハ煤氣井蒸氣罐ヲ破裂セシメテ人

家屋ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

第四百三條 火ヲ放テ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ燒燬シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

第四百四條 火ヲ放テ廢屋及ヒ柴草肥料等ヲ貯フル屋舎ヲ燒燬シタル者ハ重懲役ニ處ス

第四百五條 火ヲ放テ人ヲ乘載シタル船舶汽車ヲ燒燬シタル者ハ死刑ニ處ス

其人ヲ乘載セサル船舶汽車ニ係ル時ハ重懲役ニ處ス
第四百六條 火ヲ放テ山林ノ竹木田野

リ火ヲ放チタル者モ亦同上ノ刑ニ處セラル可シ
自他ノ所有ヲ論セス故意ヲ以テ火ノ傳ハル可キ場所ニアル物ニ火ヲ放チ前六項ニ記シタル物ニ火ヲ傳ヘタル者ハ直ニ其物ニ火ヲ放チシ者ト同一ノ刑ニ處セラル可シ
何レノ場合ニ於テモ火ヲ放チタルニヨリ其場ニ在ル一人若クハ數人ヲ焚死セシメタル者ハ死刑ニ處セラル可シ

ノ家屋財産ヲ毀壞シタル者ハ其故意ニ出ルト過失トチ分チ放火失火ノ例ニ照シテ處斷ス

第四百三十五條 地雷火ヲ破裂セシメ建造物、船舶、小舟木材ノ聚積場ヲ滅盡シタル者ハ前條ニ記シタル區別ニ從ヒ其刑ニ處セラル可シ

第四百五十八條 他人ノ動産不動産ニ接近セシ電、隕電、煙突、鑄造所、家屋、製造所ノ竊取シ或ハ其修理掃除ヲ怠リ又ハ田野ニ於テ家屋、建造物、森林、草叢、園庭、植附場、植籬、或ハ穀類、藪類、枯草、牛羊ニ喂ス可キ草類ヲ推積シタル場所其他焚燒ス可キ物品ヲ貯ヘタル場所ヨリ百メートル以内ノ距離ニ於テ火ヲ燃シ又ハ諸般ノ燃火點火ヲ疎畧ニシ又ハ疎畧ニ煙火ヲ弄シタルニヨリ他人ノ動産不動産ヲ燒キタル者ハ並ニ五十「フランク」ヨリ少カラス五百「フランク」ヨリ多カラル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十七條 土地ノ所有者若クハ借主又ハ水車製造所、池沼ノ所有者等當然ノ權利ヲ有スル者ノ定限シタル所ヨリ高ク疏水ノ道ヲ造リ其水ヲ道路或ハ他人ノ所有地ニ流溢セシメタル者ハ其損失償額ノ四分一ヨリ多カラス五十「フランク」ヨリ少カラス罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第八節 決水ノ罪

第四百十一條 堤防ヲ決潰シ又ハ水閘ヲ毀壞シテ人ノ住居シタル家屋ヲ漂流シタル者ハ無期徒刑ニ處ス
若シ人ノ住居セサル家屋其他ノ建造物ヲ漂流シタル者ハ重懲役ニ處ス
第四百十二條 堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シテ田圃、礦坑、牧場等ヲ荒廢シタル者ハ輕懲役ニ處ス
第四百十三條 他人ノ便益ヲ損シ又ハ自己ノ便益ヲ圖ル爲メ堤防ヲ決潰シ水閘ヲ毀壞シ其他水利ヲ妨害シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス

シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

第四百十四條 過失ニ因テ水害ヲ起シタル者ハ失火ノ例ニ照シ處斷ス

第九節 船舶ヲ覆没スル罪
第四百十五條 衝突其他ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載シタル船舶ヲ覆没シタル者ハ死刑ニ處ス但船中死亡ナキ時ハ無期徒刑ニ處ス

第四百十六條 前條ノ所爲ヲ以テ人ヲ乘載セサル船舶ヲ覆没シタル者ハ輕懲役ニ處ス

第四百三十七條 何レノ所爲ヲ論

第十節 家屋物品ヲ毀壞シ及ヒ

動植物ヲ害スル罪

セテ故意ヲ以テ人ノ所有タルヲ知リタル建造物橋堤ノ全部若クハ滅盡崩潰シ又ハ蒸氣器械ヲ破裂セシメタル者ハ並ニ徒刑場内ニ於テ使役スル刑損失償額ノ四分一ヨリ多カラス百一フランノ少ヨリ少カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百十七條 人ノ家屋其他ノ建造物ヲ毀壞シタル者ハ一月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ此犯罪ニ因リ人ヲ殺傷スルニ於テハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ

第四百十八條 人ノ家屋ニ屬スル牆壁及ヒ園池ノ裝飾又ハ田圃ノ樊圍牧場ノ柵欄ヲ毀壞シタル者ハ十一日以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ二圓以上廿圓以下ノ罰金ニ處ス

第四百三十九條 故意ヲ以テ官署ノ簿冊、證書類、義務、契約、算遠ノ證タル商業紙券、銀行ノ紙券、手形、證券ヲ焚燬シタル者又ハ如何ナル方法ヲ論セス此等ノ物ヲ滅盡シタル者ハ左ノ刑ニ處セ

第四百十九條 人ノ稼穡竹木其他需用

テ可シ
若シ官署ノ證書類又ハ商業若シ
ハ銀行ノ證券ヲ滅盡シタル者ハ
並ニ徒刑場内ニ於テ使役スル刑
ニ處セラル可シ
若シ其他ノ證書類ヲ滅盡シタル
者ハ二年ヨリ少カラス五年ヨリ
多カラサル時間禁錮百「フラン
ク」ヨリ少カラス二百「フランク」
ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セ
ラル可シ
第四百四十三條 故意ヲ以テ物ヲ
腐爛セシム可キ流動物其他諸般
ノ所爲ニ因リ商品若シハ製造ヲ
爲ス可キ物品器具ヲ損敗シタル
者ハ一月ヨリ少カラス二年ヨリ
多カラサル時間禁錮損失高ノ四

ノ植物ヲ毀損シタル者ハ十一日以上
六月以下ノ重禁錮ニ處シ又ハ三圓以
上卅圓以下ノ罰金ニ處ス
第四百二十條 土地ノ經界ヲ表シタル
物件ヲ毀壞シ又ハ移轉シタル者ハ一
月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓
以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス
第四百廿一條 人ノ器物ヲ毀棄シタル
者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ
處シ又ハ三圓以上卅圓以下ノ罰金ニ
處ス
第四百廿二條 人ノ牛馬ヲ殺シタル者
ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ

分ノ一ヨリ多カラス十六「フラ
ンク」ヨリ少カラサル罰金ノ刑
ニ處セラル可シ
第四百四十四條 未ダ刈收セサル
穀類又ハ天生人植ノ草木類ヲ荒
殘シタル者ハ二年ヨリ少カラス
五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラル可シ
又其犯人ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ
五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カ
ラサル時間政府ノ監視ヲ受ケシ
ムルヲ得ヘシ
第四百四十五條 他人ノ所有ノ樹
木ノ一株若シハ數株ヲ斫伐シタル者ハ其斫伐シタル樹木ノ每株ニ付キ六日ヨリ少カラス六月
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ但シ其斫伐シタル樹木ノ株數如何ニ多キ時ト雖
モ其犯人ヲ五年以上ノ禁錮ノ刑ニ處ス可カラス
第四百四十六條 樹木ヲ枯死セシメント之ヲ傷ケ又ハ其皮ヲ剝去ル者ハ並ニ其樹木ノ每株ニ付

二圓以上廿圓以上ノ罰金ヲ附加ス
第四百廿三條 前條ニ記載シタル以外
ノ家畜ヲ殺シタル者ハ二圓以上二十
圓以下ノ罰金ニ處ス但被害者ノ告訴
ヲ待テ其罪ヲ論ス
第四百廿四條 人ノ權利義務ニ關スル
證書類ヲ毀棄滅盡シタル者ハ二月以
上四年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上
三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

キ前條ト同一ノ刑ニ處セラル可シ

第四百四十七條 接木ノ一株若クハ數株ヲ損害シタル者ハ其每株ニ付キ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラルヘシ但其損害セシ株數如何ニ多キト雖モ二年以上ノ禁錮ノ刑ニ處ス可カラス

第四百四十八條 若シ街衢道路市街往還小路傍徑ニ植タル樹木ヲ斫伐シ又ハ損害シタル者ハ第四百四十五條第四百四十六條ニ記シタル場合ニ於テハ禁錮ノ至輕ノ刑二十日ヨリ少カラサルヘシ第四百四十七條ニ記シタル場合ニ於テハ其至輕ノ刑十日ヨリ少カラサル可シ

第四百四十九條 他人ノ穀類又ハ牛馬ニ喂ス可キ草類ヲ刈收シタル者ハ六日ヨリ少カラス二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十條 若シ前條ニ記シタル犯人未熟ノ穀類ヲ刈收シタル時ハ二十日ヨリ少カラス四月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラルヘシ
官吏ノ行ヲ所ノ職務ニ付キ其官吏ヲ恨ミテ此一條ト前六條トニ記シタル罪ヲ犯シタル者ハ其各條ニ記シタル刑中ノ至重ノ刑ニ處セラル可シ

又官吏ヲ恨ムニ非スト雖モ夜間ニ此罪ヲ犯シタル者ハ亦前項ニ記シタル刑ニ處セラルヘシ
第四百五十一條 農業ノ器具、獸圍、看守人ノ小舎ヲ破壊セシ者ハ並ニ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十二條 馬又ハ車ヲ挽カシメ或ハ騎行或ハ負載ノ用ニ供ス可キ獸類牛、羊、豚、ニ毒物

物ヲ與ヘタル者ハ一年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮十六(フランク)ヨリ少カラス三百(フランク)ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラルヘシ池沼ニ糞、フ魚ニ毒物ヲ與ヘタルモノ亦同上ノ刑ニ處セラルヘシ又其犯人ハ裁判所ノ宣告ヲ以テ二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間政府ノ監視ヲ受ケシムルヲ得ヘシ

第四百五十三條 已ムヲ得サルニ非スシテ前條ニ記シタル獸類ノ一ヲ殺シタル者ハ左ノ刑ニ處セラル可シ

若シ其獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有若クハ借用ノ家屋ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル者ハ二月ヨリ少カラ六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ繞圍ヲ爲シタル所ノ付屬ノ場所又ハ管地内ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル者モ亦同上ノ刑ニ處セラル可シ

若シ犯人ノ所有若クハ借用シタル場所ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル時ハ六日ヨリ少カラス一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

若シ前二項ニ記シタル以テノ場所ニ於テ此輕罪ヲ犯シタル者ハ十五日ヨリ少カラス六週ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

何レノ場合ニ於テモ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯シタル者ハ並ニ其刑中ノ至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十四條 已ムヲ得サルニ非スシテ家畜獸類ヲ蓄ヒ置キシ者ノ所有若クハ借用ノ場所ニ於テ其獸類ヲ殺シタル者ハ六日ヨリ少カラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル

可シ

若シ塀牆ヲ破壊シテ此輕罪ヲ犯シタル者ハ其刑中ノ至重ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十五條 第四百四十四條ヨリ前條ニ至ルマテノ各條ニ記載シタル場合ニ於ケル犯人ハ損失償額ノ四分ノ一ヨリ多カラス十六「フランク」少カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百五十六條 溝渠ヲ填メ又ハ塀牆ノ何物コテ造リタルヲ論セス之ヲ破壊シ又ハ植籬編牆ヲ斫毀採採シタル者ハ並ニ一月ヨリ少カラス一年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑損失償額ノ四分ノ一ニ當ルヘキ罰金ノ刑ニ處セラルヘシ土地ノ經界ヲ定ムル物或植樹或ハ之ヲ衆庶ニ知ラシムル爲メ植タル樹木ヲ移動シ若シハ毀棄シタル者亦同上ノ刑ニ處セラル可シ但シ其罰金ハ何レノ場合ニ於テモ五十「フランク」ヨリ少ナカラサル可シ

第四百七十一條ノ内

- 第一 火ヲ焚クヘキ竈、隙竈、製所作ヲ修理シ又ハ掃除スルコトヲ怠リタル者
- 第二 別段定マシリ地ニ於テ煙火ヲ弄スルノ禁ヲ犯セシ者
- 第十一 人ヨリ害ヲ受クルニ非

第四編 違警罪

第四百二十五條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ一圓以上一圓九十五錢以下ノ科

料ニ處ス

- 一 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品ヲ市街ニ運搬シタル者
- 二 規則ヲ遵守セスシテ火藥其他破裂ス可キ物品又ハ自ラ火ヲ發ス可キ物品ヲ貯藏シタル者
- 三 官許ヲ得スシテ烟火ヲ製造シ又ハ販賣シタル者
- 四 人家稠密ノ場所ニ於テ濫リニ烟火其他火器ヲ玩ヒタル者
- 五 蒸氣器械其他烟筒火竈ヲ建造修理シ及セ掃除スル規則ニ違背シタル者

スシテ人ニ對シ第三百六十七條ヨリ第三百七十八條ニ至ルマテノ各條ニ記載シタル犯罪ニ非サル誣罔ヲ爲シタル者(第三百六十七條以下ハ誣告及ヒ誹毀ノ罪ノ上段ニ在リ) 此等ノ者ハ一「フランク」ヨリ少カラス五「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百七十二條 前條ノ第二ニ記載シタル場合ニ於テ差押タル烟火及ヒ同條ノ第七ニ記載シタル鋤鍬及ヒ其他ノ兵器具ハ之ヲ沒収ス可シ(第七ハ記載セス)

第四百七十三條 烟火ヲ弄シタル者及ヒ第四百七十一條ノ第十ニ記載シタル如ク刑殘シタル穀類ヲ

第三編 ○違警罪

鈎竿ヲ用ヒ爬集シタル者葡萄園
中ニ摘殘シタル小量ノ葡萄ヲ摘
取リタル者ハ其時ノ景況ニ因リ
三日ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ處セラル可シ(第四百七十
一條ハ皇國刑法第四百二十九條
條ノ上段ニ在リ)

第四百七十四條 第四百七十一條
ニ記シタル各犯人再犯ノ罪アル
時ハ三日ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラル可シ

六官署ノ督促ヲ受ケテ崩壞セントス
ル家屋牆壁ノ修理ヲ爲サル者
七官許ヲ得スシテ死屍ヲ解剖シタル
者
八自己ノ所有地内ニ死屍アルヲ知
テ官署ニ申告セス又ハ他所ニ移シ
タル者
九人ヲ毆打シテ創傷疾病ニ至ラサル
者
十密ニ賣淫ヲ爲シ又ハ其媒合容止ヲ
爲シタル者
十一人ノ住居セサル家屋内ニ潜伏シ
タル者

第四百七十五條ノ内

第七狂者又ハ猛獸ヲ放チタル
管守者行人ニ犬ニ噉シテ傷害
チカヘサル者其犬行人ヲ襲ヒ
若クハ躡スル時之ヲ捉ヘ留メ
サル者

十二定リタル住居ナク平常營生ノ産
業ナクシテ諸方ニ徘徊スル者
十三官許ノ墓地外ニ於テ私ニ埋葬シ
タル者
十四違警罪ノ犯人ヲ曲庇スル爲メ偽
証シタル者但被告人偽証ノ爲メ刑
ヲ免カレタル時ハ第二百十九條ノ
例ニ從フ

第四百二十六條 左ノ諸件ヲ犯シタル
者ハ二日以上五日以下ノ拘留ニ處シ
又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科
料ニ處ス
一人家ノ近傍又ハ山林田野ニ於テ濫

第十二 順ニ起リタル不幸騒擾
 破船洪水火災ノ時、現行ノ盜
 犯アル時、衆庶ノ高聲ニテ罪
 犯ヲ追哄スル時、裁判宣告ニ
 從ヒ犯人ヲ刑ニ處セントスル
 時ニ際リ人ヨリ求メテ受ケ
 止テ得サルニ非スシテ勞動若
 シハ救助ヲ爲スヲ肯セス或
 ハ怠タル者
 此等ノ者ハ并ニ六「フランク」ヨ
 リ少カラス「フランク」ヨリ多
 カラサル罰金ニ處セラレヘシ

リニ火ヲ焚ク者
 二 水火其他ノ變ニ際シ官吏ヨリ防禦
 ス可キノ求メテ受ケ傍觀シテ之ヲ
 肯セサル者
 三 不熟ノ菓物又ハ腐敗シタル飲食物
 ヲ販賣シタル者
 四 健康ヲ保護スル爲メ設ケタル規則
 又ハ傳染病豫防規則ニ違背シタル
 者
 五人ノ通行ス可キ場所ニアル危險ノ
 井溝其他凹所ニ蓋又ハ防圍ヲ爲サ
 ル者
 六 路上ニ於テ犬其他ノ獸類ヲ嘯シ又

ハ驚逸セシメタル者
 七 發狂人ノ看守ヲ怠リ路上ニ徘徊セ
 シメタル者
 八 狂犬猛獸等ノ繫鎖ヲ怠リ路上ニ放
 テタル者
 九 變死人ノ檢視ヲ受ケヌシテ埋葬シ
 タル者
 十 墓碑及ヒ路上ノ神佛ヲ毀損シ又ハ
 汚瀆シタル者
 十一 神祠佛堂其他公ノ建造物ヲ汚損
 シタル者
 十二 公然人ヲ罵詈訕弄シタル者但訴
 テ待テ其罪ヲ論ス

第三百五十八條 官吏ノ允許ヲ受ク可キ規則アル場合ニ於テ其允許ヲ受ケスシテ死者ヲ埋葬シタル者ハ六日ヨリ少カラズ二月ヨリ多カラサル時間禁錮十六「フラン」ヨリ少カラズ五十「フラン」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ但シ此規則ト此罪ヲ犯シタル者更ニ他ノ罪ヲ犯シタルニ付重キ刑ニ處セラル可キノ訴ヲ受クヘキ規則ト支悟スル「ナカ」ル可シ

何レノ方法ヲ問ハス埋葬ヲ爲スニ付テノ定期ニ背キタル者亦同上ノ刑ニ處セラル可シ

第四百一十一條 相當ノ允許ヲ得スシテ典舖ヲ開キタル者及ヒ允許

第四百二十七條 左ノ諸件ヲ犯シタル者ハ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ廿錢以上一圓二十五錢以下ノ科料ニ處ス

- 一 濫リニ車馬ヲ疾驅シテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者
- 二 制止ヲ肯セスシテ人ノ群集シタル場所ニ車馬ヲ牽キタル者
- 三 夜中燈火ナクシテ車馬ヲ疾驅スル者
- 四 木石等ヲ道路ニ堆積シテ防圍ヲ設ケス又ハ標識ノ點燈ヲ怠リタル者
- 五 瓦礫ヲ道路家屋園圍ニ投擲シタル者

ヲ得ルト雖モ規則ノ如ク簿冊ヲ設ケ剩白剩行ナク其貸渡シタル物品、金額、其借主ノ姓名、住所、職業、質物ト爲シタル物品ノ性質、種類、價額ヲ記セサル者ハ並ニ十五日ヨリ少カラズ三月ヨリ多カラサル時間禁錮百「フラン」ヨリ少カラズ二千「フラン」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラ可ルシ

第四百七十一條ノ内

第六 墜落シテ人ノ害ト爲ル可キ物又ハ惡氣ヲ發シテ人ノ害ト爲ル可キ物ヲ家屋ノ前ニ展示シ或ハ拋棄セシ者

此等ノ者ハ一「フラン」ヨリ少カラズ五「フラン」ヨリ多カラ

者

- 六 禽獸ノ死屍ヲ道路ニ棄擲シ又ハ取除カサル者
- 七 汚穢物ヲ道路家屋園圍ニ投擲シタル者
- 八 警察ノ規則ニ違背シテ工商ノ業ヲ爲シタル者
- 九 醫師穩婆事故ナクシテ急病人ノ招キニ應ゼサル者
- 十 死亡ノ申告ヲ爲サズシテ埋葬シタル者
- 十一 流言浮説ヲ爲シテ人ヲ誑惑シタル者

サル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
 第四百七十五條ノ内
 第五 市街道路街衢ニ於テ富場
 其他賭博ヲ爲ス場所ヲ設ケシ
 者
 第八 石又ハ汚穢物其他堅牢物
 ナ人ノ家屋、建造物、繞園内ニ
 抛チシ者又ハ故意ヲ以テ堅牢
 物、汚穢物ヲ人ニ抛チシ者
 此等ノ者ハ六「フランク」ヨリ少
 カラス十「フランク」ヨリ多カラ
 サル罰金ノ刑ニ處セラル可シ
 第四百七十九條ノ内
 第七 ト筮或ハ占夢ヲ職業トス
 ル者
 此等ノ者ハ十一「フランク」ヨリ少
 カラス十五「フランク」ヨリ多カ
 ラス

十二 妄ニ吉凶禍福ヲ説キ又ハ祈禱符
 呪等ヲ爲シ人ヲ惑ハシテ利ヲ圖ル
 者
 十三 私有地外ニ濫リニ家屋牆壁ヲ設
 ケ又ハ軒楹ヲ出シタル者
 十四 官許ヲ得スシテ路傍又ハ河岸ニ
 床店等ヲ開キタル者
 十五 路上ノ植木市街ノ常燈及ヒ廁場
 等ヲ毀損シタル者
 十六 道路橋梁其他ノ場所ニ榜示シタ
 ル通行禁止及ヒ指道標ノ類ヲ毀棄
 汚損シタル者
 第四百二十八條 左ノ諸件ヲ犯シタル

ラサル罰金ノ刑ニ處セラル
 一シ

者ハ一日ノ拘留ニ處シ又ハ十錢以上一
 圓以下ノ科料ニ處ス
 一 官署ヨリ價額ヲ定メタル物品ヲ定價
 以上ニ販賣シタル者
 二 渡船橋梁其他ノ場所ニ於テ定價以上
 ノ通行錢ヲ取り又ハ故ナク通行ヲ妨
 ケタル者
 三 渡船橋梁其他通行錢ヲ拂フ可キ場所
 ニ於テ其定價ヲ出サスシテ通行シタ
 ル者
 四 路上ニ於テ賭博ニ類スル商業ヲ爲シ
 タル者
 五 官許ヲ得スシテ劇場其他觀物場ヲ開

キ及ヒ其規則ニ違背シタル者
 六溝渠下水ヲ毀損シ又ハ官署ノ督促
 ナ受ケテ溝渠下水ヲ浚ハサル者
 七制止ヲ肯セスシテ路傍ニ食物其他
 ノ商品ヲ羅列シタル者
 八官許ヲ得スシテ獸類ヲ官有地ニ放
 ナ又ハ牧畜シタル者
 九身體ニ刺文ヲ爲シ及ヒ之ヲ業トス
 ル者
 十他人ノ繫キタル牛馬其他ノ獸類ヲ
 解放シタル者
 十一他人ノ繫キタル舟筏ヲ解放シタ
 ル者

第四百七十一條ノ内

第三 灯火ヲ點ス可キ定則ニ背
 キテ其事ヲ怠リタル旅店ノ主
 人及ヒ其他ノ者又ハ邑ノ人民
 自カラ街路小徑ヲ掃除ス可キ
 邑ノ規則アル時其事ヲ怠リタ
 ル者
 第四 已ムヲ得サルニ非スシテ
 通行ノ自在若シハ安寧ヲ妨シ
 可キ物品ヲ道路ニ置テ妨害ヲ
 爲ス者又ハ街衢ニ置キタル物
 品或ハ街衢ニ穿テシ穴ニ火ヲ
 點ス可キ法律規則ニ背キシ者
 第五 他ノ法律ニテ別段罰ス可
 キ情狀ナクシテ田野ニ刈殘シ
 タル穀類ヲ日出前若シハ日没
 後ニ鈎竿ヲ用ヒテ之ヲ爬集シ

第四百廿九條

左ノ諸件ヲ犯シタル者
 ハ五錢以上五十錢以下ノ科料ニ處ス
 一橋梁又ハ堤防ノ害ト爲ル可キ場所
 ニ舟筏ヲ繫キタル者
 二牛馬諸車其他物件ヲ道路ニ横タヘ
 又ハ木石薪炭等ヲ堆積シテ行人ノ
 妨害ヲ爲シタル者
 三車馬ヲ並ヘ牽テ行人ノ妨害ヲ爲シ
 タル者
 四水路ニ於テ舟ヲ並ヘ通船ノ妨害ヲ
 爲シタル者
 五氷雪塵芥等ヲ路上ニ投棄シタル者
 六官署ノ督促ヲ受ケテ道路ノ掃除ヲ

又ハ葡萄園中ニ摘殘シタル小量ノ葡萄ヲ摘取セシ者

此等ノ者ハ一「フランク」ヨリ少カラス五「フランク」ヨリ多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百七十五條ノ内

第三 馬又ハ車ヲ挽カシメ或

ハ物ヲ負載セシムル獸類及ヒ車ニ添テ常ニ之ヲ引導ス可キ場所ニ在ルヘキ規則市街道路街衢ノ側ニ避クキ規則其他車ニ對シ躲避シテ市街堤塙道路小徑ノ半ヲ讓ル可キ規則ニ背キシ挽夫御者又ハ獸類ヲ挽ク者

爲サ、ル者

七 制止ヲ肯セヌシテ路上ニ遊戯ヲ爲シ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

八 牛馬ヲ牽キ又ハ繫クヲ忽カセニシテ行人ノ妨害ヲ爲シタル者

九 出入ヲ禁止シタル場所ニ濫リニ出入シタル者

十 通行禁止ノ榜示ヲ犯シテ通行シタル者

十一 道路ニ於テ放歌高聲ヲ發シテ制止ヲ肯セサル者

十二 酩酊シテ路上ニ喧噪シ又ハ醉臥シタル者

十三 路上ノ常燈ヲ消シタル者
十四 人家ノ墻壁ニ貼紙及ヒ樂書シタル者
十五 邸宅ノ番号標札招牌又ハ貸家賣買ノ貼紙其他報告ノ榜標等ヲ毀損シタル者
十六 他人ノ田野園圃ニ於テ菜葉ヲ採食シ又ハ花卉ヲ採折シタル者
十七 公園ノ規則ヲ犯シタル者
十八 通路ナキ他人ノ田圃ヲ通行シ又ハ牛馬ヲ牽入レタル者

第九 既熟未熟ヲ論セス穀類葡萄其他菓實ノ結ヒタル時ニ當リ其土地ノ所有者ニ非ス入額ヲ得ル者ニ非ス借主ニ非ス其土地ノ通行權ヲ有スル者ニ非スシテ其地ニ潜入シタル者

第十 何レノ時ヲ論セス種ヲ時キ若クハ穀類ノ生シタル他人ノ地又ハ斫伐ス可キ他人ニ屬スル森林ニ車ヲ挽キ若クハ物ヲ載セ若クハ騎行ニ用フル獸類ヲ通行セシメ又ハ通行ヲ見テ停メサル者

此等ノ者ハ六「フランク」ヨリ少カラス十「フランク」多カラサル罰金ノ刑ニ處セラル可シ

第四百三十條 前數條ニ記載スルノ外

各地方ノ便宜ニヨリ定ムル所ノ違警罪ヲ犯シタル者ハ其罰則ニ從テ處斷ス

緒言正誤

第一葉第二行

ルハノ誤

第一編

一葉 上段第十五行

ヲラツクノ上ニテ脱ス

一五葉 上段第二行

校校ハ師校ノ誤

二〇葉 全 第五行

告ハ害ノ誤

全 全 第十三行

訴ノ下ニテテニ字ヲ脱ス

二七葉 全 第七行

除ノ下ノヲ脱ス

二九葉 全 第一行

テハリノ誤

三五葉 全 第六行

テハリノ誤

四七葉 欄外第四編ハ第一編ノ誤

第二編

一葉 上段第四行

身ハ生命ノ誤

八葉 全 第五行

徒ハ從ノ誤

九葉 全 第六行

官ノ上士ヲ脱ス

全 全 第五行

時ハ者ノ誤

一四葉 上段第十六行 又脅迫云々ハ行ヲ改ム

一三葉 下段第十行

爲ハ處ノ誤

一九葉 下段第七行

物ノ下ノヲ脱ス

二三葉 全 第三行

ハハニノ誤

二四葉 上段第四行

身ノ下ノノハ衍

全 全 下段第二行

刑ノ下ハヲ脱ス

三一葉 全 第十行

綱ハ獄ノ誤

四三葉 全 第四行

ニハハノ誤

全 全

一ハ〇ノ誤

七葉 全 第七行

官命云々ハ行ヲ改ム

全 全 第六行

同上

一〇葉 下段第二行

故サラニノ四字衍

一三葉 全 第五行

加ハ和ノ誤

一七葉 全 第四行

第三ハ行ヲ改ム

二一葉 下段第四行 論スルノ限ニ在ラスハ論セスノ誤全

二三葉 全 第七行 命ハ令ノ誤

二九葉 全 第七行 安寧ノハ安寧ヲノ誤

三二葉 全 第三行 一ハ二ノ誤

三九葉 下段第二行 ケノ下テヲ脱ス

全 第十三行 同上

七三葉 全 第五行 者ハ時ノ誤

九二葉 全 第七十四條ヨリ第八十六條マテハ第七十三條ノ次ニ接続ス

九六葉 全 第十三行 犯ノ上其ヲ脱ス

第 三 編

四葉 下段第九行 上ノ又ハノ二字併

一三葉 上段第十行 附間ハ時間ノ誤

一八葉 下段第九行 スノ下其ヲ脱ス

二三葉 上段第七行 セ行ハ倒植

二七葉 上段第十四行 ケノ下ノシハ衍

二四葉 全 第九行 罪判ノ間ヲ脱ス

二四葉 全 第八行 件ノ下ヲ脱ス

三〇葉 下段第八行 故意ヲ以テノ五字衍

三五葉 全 第六行 金ハ倉ノ誤

三六葉 上段第十五行 府蓋ノ間ノヲ脱ス

四五葉 全 第十行 印ハ用ノ誤

六八葉 全 第八行 室ハ屋ノ誤

九一葉 上段第一行 成ハ或ノ誤

六葉 全 第一行 爲ノ上ルヲ脱ス

一六葉 全 第十六行 第四百條ノ四字撤ケテ填

二一葉 上段第三百五十條ヨリ第三百五十三條マテハ第三百四十四條ノ次ニ接続ス

二六葉 下段第四行 殺ハ死ノ誤

二八葉 全 第十二行 ハハ衍ハ夫百ノ間ハヲ脱ス

三〇葉 下段第一行 右ハ左ノ誤

三六葉 下段第一行 シノ上ノ盜ハ取ノ誤

四四葉 下段第二行 ハノ下亦ヲ脱ス

五三葉 下段第二行 物ノ下件ヲ脱ス

五七葉 上段第三行 クハ上一部ヲ三三ノ字ヲ脱ス

六一葉 上段第一行 物ハ衍

第 四 編

六三葉 上段第十行 四ノ下百ヲ脱ス

七三葉 全 第十四行 第五ハ第十ノ誤

三四葉 上段第十四行 時ノ下ハヲ脱ス

四二葉 上段第二行 此三項云々ハ行ヲ改ム

五二葉 全 第十三行 裂ハ聚ノ誤

五六葉 全 第四行 シノ下テヲ脱ス

五九葉 下段第一行 甘圓以上ハ甘圓以下ノ誤

六二葉 全 第七行 植ノ上ハヲ脱ス

全 上段第十三行 兵器具ハ兵器器具ノ誤

淺井佐一郎篇纂
 改正 增補 民事覽要 廣告

西洋本仕立

全一冊

代價金二圓五十錢

本篇ハ維新革命ヨリ明治十年ニ至リ發令セル民事詞訟ニ扼要ナル官令ヲ撮録シ發ニ篇纂セシモノ及ヒ十一年ヨリ十二年ニ至ル發令ノ條件ヲ合輯セシモノナリ其類ヲ分ツテ四十一章ト爲シ逐條要旨ヲ摘採シ卷首ニ掲ケテ附スルヲ以テ尤播閱ニ便ナリ而テ既ニ改正成ル條件ハ原文ヲ略シ要領及ヒ發令年月日號ヲ記シ以テ其沿革ヲ知ラシム然レモ証券印稅受人証人辨償規則ノ如キ當時ノ定約存スルモノ之ヲ裁録セリ或ハ卷中照合ス可キモノハ其條件ヲ記スルニヨリ一目シテ且亦沿革ヲ知ル可シ苟モ訴訟ニ關スルノ法令載セテ漏サス實ニ民事詞訟緊要ノ書ト爲ス諸君幸ニ購求アラソクナセ

十月 出版 刑法一覽表

定價金十二錢

此表ハ新刑法中ニ就テ最大ノ重要ナル件目ヲ悉ク區舉シ各目ノ下ニ條文ヲ節載セシモノニテ一瞥瞭然トシテ刑法ノ要領ヲ了知スルコトハ彙中ノ物ヲ探ルカ如ク實ニ搜覽自由ニシテ固ヨリ携帶ニ輕便ナル表ナレハ請フ江湖ノ諸哲御講求ヲ垂レ玉ハンコトナレ祈ル

明治十三年八月卅日出版御届
 同年十月二日製本改御届
 同年同月 刻成

定價金八十五錢

編纂人

京都府士族

小 山 景

止

京都府下上京區第廿二組出水町第二百五十四番地

出版人

大阪府平民

岡 島 眞 七

大阪府下東區本町四丁目五十九番地

印刷

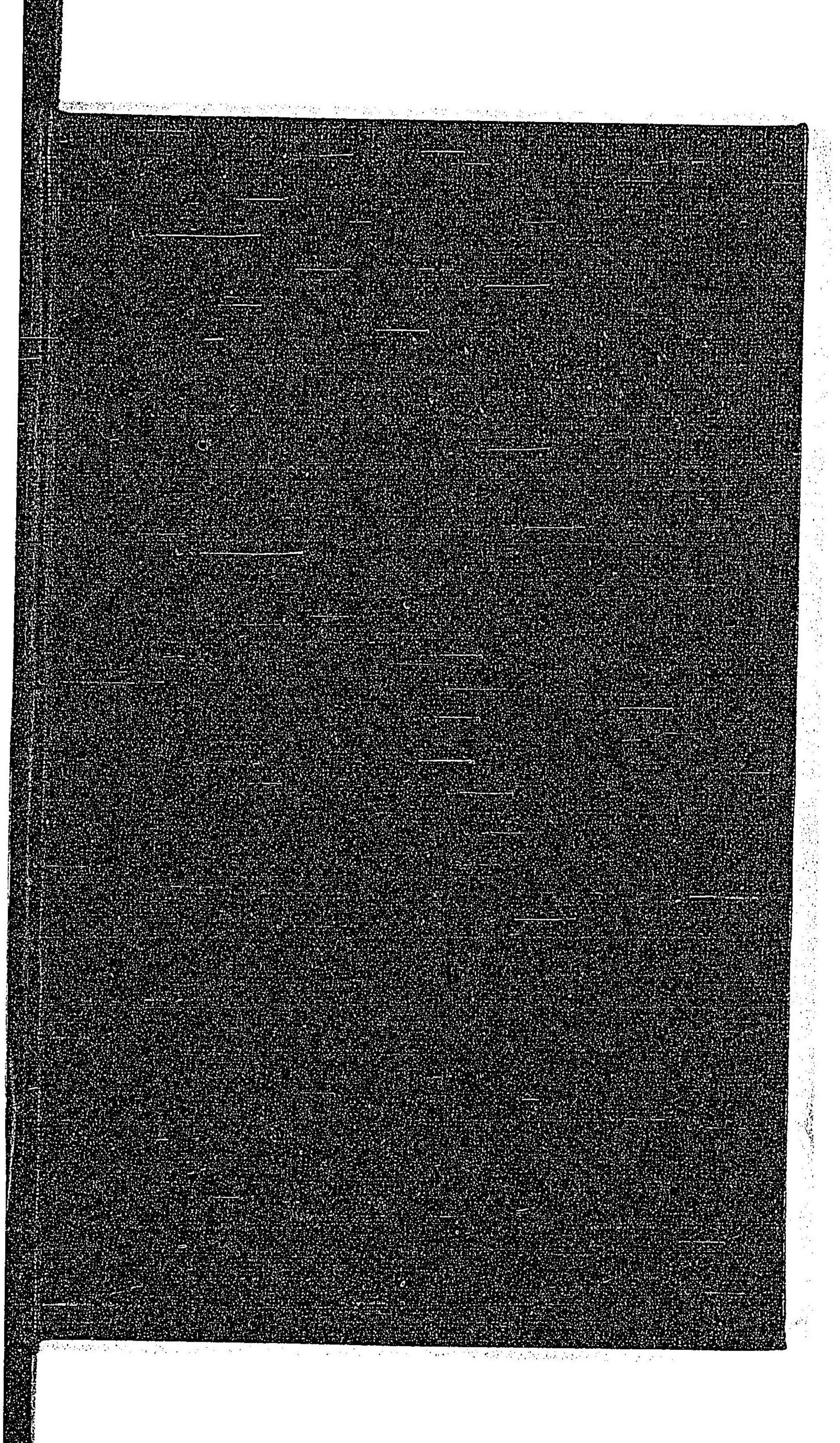
岡 島 活 版 所

大阪府下東區本町四丁目五十八番地

手付子

同濃州大垣	同加州岐草	同尾州金澤	同尾州名古屋	同片野東	同鈴木野常	同長野善	同牧野善	同北野善	同小澤新	同東島喜	同江柳喜	同穴山篤	同丸屋善	同須原量	同須原鐵	同博山開	同山田兵	同稻中兵	同北島兵	東	
久保田鐵	三浦喜兵衛	中村喜兵衛	近田太代	川瀬東四郎	片野常四郎	鈴木野常	長野善七郎	牧野善七郎	北野善七郎	小澤新七郎	東島喜兵衛	江柳喜兵衛	穴山篤兵衛	丸屋善七郎	須原量平	須原鐵二	博山開社	山田兵衛	稻中兵衛	北島兵衛	京
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
伊藤和七郎	山原仁七郎	本野長平	村莊輔三郎	宮川三郎	玉井新次郎	平井文安	由利安次郎	廣田儀次郎	小澤宗儀	澤川勝次郎	神岡文清	竹川本甚	細川本甚	杉田木惣兵衛	永田木惣兵衛	佐藤木惣兵衛	藤井孫兵衛	大谷仁兵衛	村上兵衛	西	京
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
梅原龜七	吉岡平	花井外三郎	北尾禹三郎	鹿田志靜	赤井吉忠	淺井本兵衛	森本喜兵衛	柳原喜兵衛	三木源七郎	前川善七郎	中川善七郎	岡田善七郎	中川善七郎	田村九兵衛	松野木庄兵衛	大本木庄兵衛	鈴木久三郎	青井三郎	竹中三郎	攝州兵衛	兵庫





禁電子式複写

036000-000-4

CZ-711-039

皇国仏国刑法对比

小山 景止/編

M13

BBP-0617

